

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 ( 1 )箇所

2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

委託業者の設置場所

3. 研修開催回数 延べ( 6 )回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)  
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回 9/4	( 96 )名	( 93 )名
第2回 9/25	( 75 )名	( 71 )名
第3回 11/2	( 75 )名	( 73 )名
第4回 11/3	( 72 )名	( 71 )名
第5回 11/23	( 71 )名	( 69 )名
第6回 12/12	( 77 )名	( 74 )名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	( 466 )名	( 451 )名
診療所	( )名	( )名
助産所	( )名	( )名
介護老人保健施設	( )名	( )名
指定訪問看護事業所	( )名	( )名
その他 ( )	( )名	( )名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の  
病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	73
100～200未満	88
200～400未満	143
400床以上	147

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	( )名
看護副部長	( )名
師長	( )名
係長・主任	( 41)名
スタッフ	( 220)名
その他	( )名

アンケートから把握した情報  
アンケートの回収率は95%

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更した  
うえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等について  
ご自由にご記入ください)

受講基準・選考基準なし  
研修責任者・教育担当者・実地指導者の役割別に受講対象とする

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

委託業者から研修案内を発送し、募集を募る  
会員施設の責任者に案内をPRする

### Ⅲ. 研修内容に関すること

#### 1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式  
 B 講義毎に部分的に受講する形式

#### 2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
9月4日	新人看護職員の理解	2.5	講義方式 ○現代の看護学生の特徴 ○基礎看護教育制度とカリキュラムの内容 ○基礎教育における臨床実践能力の習得状況
9月25日	新人看護職員研修に関わる看護職員のメンタルサポート	5	講義方式 ○看護師のストレスについて ○看護師がかかえやすい精神的問題 ○ストレスマネジメントについて考える ○指導者のストレスとその対処 ○問題解決型のストレス対処法
11月2日	看護技術の指導方法と評価	5	○新人にどうなってほしいかビジョンを明確にする ○ビジョンに基づいて行動レベルを表記 ○指導者・対象者が目指すべき目標①～⑦
11月3日	新人看護職員の理解意欲を引出す指導のコツ	5	○新人看護職員研修ガイドラインに基づく看護技術指導の演習 グループワーク:技術指導の例 6技術の中から選択する チェックリストをワークする
11月21日	学習に関する基礎知識	5	講義方式 教育とは、学習理論、青年心理
12月12日	新人看護職員への技術指導	5	シミュレーション教育とは シミュレーションで学ぶフィジカルアセスメント 演習

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

#### 3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ( 2 )名  
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ( 1 )名  
 施設の教育担当者(教育責任者等) ( )名  
 専門看護師・認定看護師 ( )名  
 その他 ( 1 )名

その他の職種： 職種等( 教授 ) ( 1 )名  
 職種等( ) ( )名  
 職種等( ) ( )名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 5.5 )日 ( 28 )時間

5. 4. の内訳 講義 ( 23 )時間 演習 ( 5 )時間  
 その他 ( )時間 オリエンテーション ( )時間

#### IV. 事業の評価等に関すること

##### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

- 考える新人看護職員を育成のため、シミュレーション教育を取り入れるため、演習をふまえて研修する
- 新人ガイドラインを踏まえ、さらに効果的な実地指導を行うための看護技術指導の方法を習得するため、ガイドラインをもとにした、指導方法を実践する演習を入れる

##### 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

- 平成23年度の鳥取県内病院における新人看護職員採用は264名で、新人採用施設は30施設である。実地指導者研修への参加は22施設であった。 不参加施設への呼びかけが必要だった。

##### ○アンケート結果より

- ・講師も、臨床で活躍中の実践者から学べるというメリットがある。
- ・臨床で即活用できる内容・実践的な内容についての評価が高い。
- ・指導者としての基礎知識に関する内容への評価は低い。

研修内容	ねらい通り	満足度	理解度	活用度
研修体制, 新人理解	95.3	90.6	96.5	92.9
メンタルサポート	97.1	97.1	98.6	94.2
看護技術の指導方法と評価	100.0	100.0	100.0	98.5
教育とは、学習理論	66.7	59.1	80.3	65.2
シミュレーション学習	97.2	98.6	98.6	98.5

- ・シミュレーション学習への理解がよく、学びが多いと感じている。臨床への活用を実践したいとの意見が多くあった。

- 実地指導者の研修は講義が主で、グループワークが実施できなかった。グループワークの学びは大きく、施設間の情報交換ができる

## V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない

○ B 委託している 委託先( 鳥取県看護協会 )